

高きを求める



INAKITA 2022 CAMPUS GUIDE

新たな100年を築く
ために、日本の真ん
中から、地域を支え、
世界を変える！





学習目標

「たぐへて行かむ」

- 平和を希求し、真理と正義を探究する資質を養う
- 躍如として学業にいそしむ
- 自主・自立の精神を養い、個性の伸長をはかる
- 自由と責任を重んじ、努力を惜しまない態度を養う

質の高い授業

各教科における授業改善
グループワーク・ペアワーク
主体的・対話的で深い学び
進路実現を見据えた選択授業(2年)

文武両道

部活動／生徒会活動
自主的活動(ボランティア・地域)

探究的 学びの実践

思考力・判断力・表現力の養成
探究的な学びの推進
地域課題の発見と解決
課題研究(理数科)

産学官との連携 による学び

大学・研究機関との協働
企業・自治体との協働
外部講師の活用

伊那北スタイル のキャリア教育

大学見学会
夢ナビライブ
こんにちは先輩
各種講演会
各種講座

100年歴史を礎に
二世紀目に向かう
新たな学校づくりを
目指します

クロスペン アカデミー

講演会
自習室の運営
探究活動の応援

ICT機器 の活用

各教室の電子黒板
タブレット端末の活用
インターネット環境の整備



充実した 学習活動

教育課程編成
・
実施方針

進路実現のための カリキュラム

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、
P D C A サイクルを活用した授業改善。

医学・医療、理工、人文社会、芸術、教員養成など
様々な分野に関する産官学、高大中と連携した学び。

地域への理解を深め、グローバルな視点で社会に
貢献していく力を育てる地域と連携した学び。

探究心を高めるために、感性を磨き「豊かな人間性」
を育む課題発見から解決に向けた学習活動。

ICTの効果的な活用と主体性、
協働性などの学ぶ姿勢の涵養。



生徒育成方針

広い視野と柔軟な発想力を持ち、社会を広義に
イノベーション(刷新)できる生徒。

たくましい精神力と豊かな人間性、
本物の知性を備えた社会をリードする生徒。

探究心を持ち、自ら考え自ら行動するとともに、
他者と協働する力を持つ生徒。

社会の中で自己有用感を持ち、世界、
地域での役割を自覚できる生徒。

地域で必要とされる人材、
世界で必要とされる人材を目標とする生徒。

令和4年度より
普通科に新コース
を設置します

普通科

文系／理系／学際 3コース

理数科

育てたい
生徒像



普通科

4年制大学をはじめとする幅広い進路実現ができるカリキュラムです。教科学習はもちろんのこと、人間としての力を蓄えられるようなキャリア教育も充実させています。1年次は、必履修科目を中心に学ぶ中で学習習慣の確立と探究活動等の社会と関わる活動を通じ、社会常識を身につけることを目標としています。2年次からは、文系、理系、学際の3コースから各自の進路に応じたコースを選択し、3年次ではより自分の進路実現に向けた科目選択が可能となる充実したカリキュラムを用意しています。



理数科

「自ら考える力・自ら計画し実験して検証する力・自ら創造し得る力」を身につけることを目標に掲げ、基礎学力の充実をはかるとともに、実験・観察や演習などを通し、より広く深く自然科学を学びます。大学と連携して、より高度な内容を学習する取り組みも積極的に行ってています。

また、1～3年次にわたり、クラス単位で勉強する機会が多いことも特徴で、多くの先輩は「希望する進路が同じ仲間が周りにいて、良い刺激になった」と言っており、切磋琢磨し合える環境が整っています。また、文化祭などの学校行事は普通科と一緒に行っています。



●普通科の2年次・3年次は、3つのコースに分かれます

コース目標

学習内容

学科目標

学習内容

普通科 文系コース

- 基礎学力の定着に重点をおき、興味関心、能力、適性、進路希望に応じた科目を選択し学ぶことで、学力伸長の実現を目指す。
- 「総合的な探究の時間」の課題研究により自ら課題を発見し、深く考える探究活動により視野を広げる。
- 4年制大学の文学部、人文学部等の人文科学系学部、及び法学部、経済学部、経営学部、商学部等の社会科学系の学部学科を目指す。

- 基礎学力の確実な定着を目指した、きめ細やかな指導体制が確立されています。
- 3年次は自分の興味関心、能力、適性、進路希望にあった科目を選択できるカリキュラムが編成されています(国語、数学、英語、地歴公民、芸術、体育での選択科目が充実しています)。

普通科 理系コース

- 基礎学力の定着はもちろん、興味関心、能力、適性、進路希望に応じた科目を選択し学ぶことで、学力伸長の実現を目指す。
- 「総合的な探究の時間」の課題研究により自ら課題を発見し、深く考える探究活動により視野を広げる。
- 4年制大学の理学部、工学部、農学部等の自然科学系、医学部、歯学部、薬学部等を含む医療系の学部学科を目指す。

- 基礎学力の確実な定着を目指した、きめ細やかな指導体制が確立されています。
- 3年次は自分の興味関心、能力、適性、進路希望にあった科目を選択できるカリキュラムが編成されています(数学、理科での選択科目が充実しています)。

普通科 学際コース

- 発展的で幅広い学びを意識した授業展開から、将来様々な分野で活躍する人材育成を目指す。
- 「学際探究」の課題研究により自ら課題を発見し、深く考える探究活動により視野を広げる。
- 4年制大学の文学部、人文学部等の人文科学系学部、及び法学部、経済学部、経営学部、商学部等の社会科学系の学部学科を目指す。

- 国語(考究現代文、考究古典)・数学(学際数学、学際数学 α 、学際数学 β)・英語(G英語コミュニケーションII、G英語コミュニケーションIII、G論理表現II、G論理表現III)において、グローバル化社会やSDGs(持続可能な社会)において必要な視野が広がる学問領域を超えた広い学びができる充実した学校設定科目による授業が展開されます。

●学科・コース別の教育課程表は次ページ

産学官との連携

理数科の特色のひとつは「課題研究」です。1年次(1単位)は大学や企業との連携を測り、大学や地元企業での講義・実習を含んだ研修や大学との連携による講義・実習により研究への取り組み方を学びます。2年次(2単位)では、一つのテーマに決めて、それに1年間じっくりと取り組み、自ら研究する姿勢を身につけます。研究は毎年一冊の報告書にまとめ、課題研究発表会で発表します。





●令和元年度より探究学習を授業内で実施

これからの時代は、教科等における知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力が求められるようになります。さらに、社会においても主体的かつ協同的に学び行動することが求められます。令和4年度より実施される新学習指導要領において、普通科では「総合的な探究の時間」が、理数科では「理数探究」が設置されます。本校で、今まで行ってきた「総合的な学習の時間」、理数科2年次の「課題研究」のカリキュラムを見直して令和元年度より普通科「総合的な探究の時間」、理数科「課題研究」を実施しています。今まで行ってきたものの良さを生かして、現在求められている力を育成できるものにリニューアルし、学習指導係主導のもと学年とも連携し、新たなプログラムを開発し、地元企業や大学等とも連携も取り入れています。また、授業時間内に設定し、放課後の活動等への影響も抑える工夫もしております。

普通科 総合的な探究の時間

地元企業との連携から、
自分の進路に応じた研究へ

1年: "SDGs×地元"

高校卒業後の社会で待ち構えている、初めて出会う問題、AIによる技術革新、先行き不透明な世の中に対応しなければなりません。そのため国連は、2030年までに達成すべき17の目標を定めました。この略称をSDGsと言います。1年次ではこのSDGsの視点を踏まえて、地域の課題を発見し、探究活動を行います。



2年: "SDGs×進路"

SDGsの視点を踏まえ、自分の進路に関連した課題を設定し「一人一研究」を行います。研究の中では、自らインタビューをする企業等を選定し、アプローチをする活動を予定しています。この活動を通じて、主体性や社会性も育成していきます。最後には、1年間の探究活動のまとめとして課題研究発表を行います。



理数科 理数探究

大学・研究機関、企業との連携を通じて
研究の基礎を学び、専門的な研究に挑む

1年: 研究の考え方を身につける 「理数探究基礎」

前半はSDGsについて普通科とともに学びます。後半は、大学や企業との連携を図り、大学や地元企業での講義・実習を含んだ研修や「ミニ課題研究」によって、研究への取り組み方を学びます。



2年: 自然科学分野の研究に挑む 「理数探究」(課題研究)

数学、物理、化学、生物、地学の5分野に分かれて、グループ研究を行います。7月までにテーマ設定を行い、その研究に取り組みます。その成果を1月下旬から2月上旬に行われる「課題研究発表会」で発表します。ポスターの作成も行い、各種コンクール等でも発表できる段階まで仕上げます。



●教育課程表《普通科 3コース》

普通科 文系コース

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学 I	数学 A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術	英語 コミュニケーション I	論理表現 I	家庭基礎	総探	LHR
2年	論理国語	古典探究	公共	数学 II	数学 B	科学基礎/ 地学基礎	※選択 1	※選択 2	体育	保健	英語 コミュニケーション II	論理表現 II	情報 I	総探	LHR	
3年	論理国語	古典探究	体育	英語 コミュニケーション III	論理表現 III	文系数学 α	基礎生物・地学/ 基礎科学・生物	文系数学 β / 英会話/LD/ 保健体育総合	日本史探究/ 世界史探究/ 地理探究/音楽/ 美術/ 文学国語/P/E/英語探究	日本史探究/ 世界史探究/ 地理探究/音楽/ 美術/ 文学国語/P/E/英語探究	政治・経済/ 倫理/古典 A 英語探究	LHR				

普通科 理系コース

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学 I	数学 A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術	英語 コミュニケーション I	論理表現 I	家庭基礎	総探	LHR
2年	論理国語	古典探究	公共	数学 II	数学 B	科学基礎	化学	物理/生物	体育	保健	英語 コミュニケーション II	論理表現 II	情報 I	総探	LHR	
3年	論理国語	古典探究	発展地学/ 発展政治	発展公共	数学 III	数学 C	理系数学 2	物理/生物	化学	体育	英語 コミュニケーション III	論理表現 III	LHR			

普通科 学際コース

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学 I	数学 A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術	英語 コミュニケーション I	論理表現 I	家庭基礎	総探	LHR
2年	考究現代文	考究古典	公共	学際数学	科学基礎/ 地学基礎	※選択 1	※選択 2	体育	保健	G 英語 コミュニケーション II	G 論理表現 II	情報 I	学際探究	LHR		
3年	考究現代文	考究古典	体育	G 英語 コミュニケーション III	G 論理表現 III	学際数学 α	基礎生物・地学/ 基礎科学・生物	学際数学 β	日本史探究/ 世界史探究/ 地理探究/音楽/ 美術/ 文学国語/P/E/英語探究	日本史探究/ 世界史探究/ 地理探究/音楽/ 美術/ 文学国語/P/E/英語探究	政治・経済/ 倫理/古典 A 英語探究	LHR				

●日課表 月曜～金曜

※土曜日授業の日は3限まで行い、その後清掃15分間

SHR	1限	2限	3限	昼食	4限	5限	6限	清掃
8:40～8:50	9:00～9:55	10:00～10:55	11:05～12:00	12:00～12:40	12:40～13:35	13:45～14:40	14:50～15:45	15分間

●教育課程表《理数科》

理数科

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	理数数学 I	理数数学 II	理数物理	理数生物	体育	保健	芸術	英語 コミュニケーション I	論理表現 I	家庭基礎	理数探究	LHR
2年	論理国語	古典探究	公共	理数数学 II	理数化学	理数物理/ 理数生物	体育	保健	英語 コミュニケーション II	論理表現 II	情報 I	理数探究	LHR			
	考究現代文	考究古典	公共	理数数学 II	理数科学/ 理数地学	※選択 1	※選択 2	体育	保健	G 英語 コミュニケーション II	G 論理表現 II	情報 I	理数探究	LHR		
3年	論理国語	古典探究	地理探究/日本史探究	理数数学 II	理数数学特論	理数物理/理数生物	理数化学	体育	英語 コミュニケーション III	論理表現 III	LHR					
	考究現代文	考究古典	体育	英語 コミュニケーション III	論理表現 III	学際数学 α	理数生物	理数生物	日本史探究/世界史探究/ 地理探究/音楽/ 美術/ 文学国語/P/E/英語探究	日本史探究/世界史探究/ 地理探究/音楽/ 美術/ 文学国語/P/E/英語探究	政治・経済/ 倫理/古典 A 英語探究	LHR				

※選択 1・日本史探究/世界史探究/地理探究/国語総合/英語総合より選択

※選択 2・日本史探究/世界史探究/地理探究/音楽 II/美術 II/国語総合/英語総合より選択

※選択 3・理数化学/理数地学より選択



学校主要行事

- 4月** 入学式・対面式
春期クラスマッチ
- 7月** ペン祭
- 8月** 中学生体験入学
- 9月** 秋期クラスマッチ
合唱コンクール
- 10月** 強歩大会
- 11月** 研修旅行（2年）
- 2月** 1・2年普通科
「総合的な探究の時間」課題研究発表会
1年理数科 ミニ課題研究発表会
2年理数科 課題研究発表会
- 3月** 卒業式



●伊那北高校のあゆみ

2020年に創立100年を迎えました

大正

- 8年(1919年) 長野県伊那中学校設置認可
- 9年(1920年) 伊那尋常小学校校舎を一部借用し開校
- 12年(1923年) 校舎落成
- 22年(1947年) 新学制実施に伴い、
長野県伊那中学校併設中学校を設置
- 23年(1948年) 長野県伊那中学校30年の歴史を閉じ
長野県伊那北高等学校開校
- 24年(1949年) 併設中学を廃止
- 43年(1968年) 創立50周年記念・管理校舎及び
付属施設落成記念式典挙行
- 46年(1971年) 制服を自由化
- 58年(1983年) 同窓会館「伊那薰ヶ丘会館」落成

昭和

平成

令和

- 5年(1993年) 理数科開設
- 9年(1997年) 65分授業導入 5限日課に変更
- 12年(2000年) 創立80周年記念式典挙行
- 14年(2002年) 2学期制に移行
- 15年(2003年) クロスベンアカデミー始まる
- 22年(2010年) 創立90周年記念式典挙行、「高志館」竣工
- 29年(2017年) 全HR教室にICT機器導入
- 30年(2018年) 55分授業導入 6限日課に変更
- 2年(2020年) 創立100周年を迎える
1・2年HR教室等に無線LAN整備
全HR教室等に空調設備（エアコン）設置
- 3年(2021年) 南校舎・中校舎間渡り廊下、
昇降口耐震工事（渡り廊下2階減築）
3年HR教室・特別教室に無線LAN整備

令和3年3月現在の卒業生数（旧制中学、併設中学校卒業生等を含む）
男子 18,000名／女子 5,685名（総計 23,685名）



ラグビー部



野球部



弓道部

令和2年度部活動／全国大会の実績

運動部

- 全国高等学校陸上競技大会 陸上部
- U20 全国陸上競技大会 陸上部 女子やり投げ
- 全国高等学校選抜フェンシング大会 フェンシング部
男子学校対抗フルーレ出場・女子学校対抗フルーレ出場
- 全国高等学校なぎなた選抜大会
なぎなた／男子個人出場

令和元年度部活動

- 全国高等学校総合体育大会
 - フェンシング部／男子団体・男子個人
女子団体（全国ベスト8）・女子個人
 - 弓道部／男子個人 ソフトテニス部／男子個人（ダブルス）
自転車競技／男子個人
- ハイスクールジャパンカップ
 - ソフトテニス部／男子（ダブルス・シングルス）
- 全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会
 - ラグビー 北信越選抜チームメンバー
- 第72回全日本フェンシング選手権大会
 - フェンシング部／女子個人
- 第44回全国高等学校選抜フェンシング大会
 - フェンシング部／女子団体
- 全日本ジュニア選手権大会
 - テニス部 女子個人
- 第25回シクロクロス全日本選手権大会
 - 自転車競技／男子個人（全国3位）
- シクロクロス世界選手権 2020
 - 自転車競技／男子個人

学芸部

- 第29回全国高等学校文化連盟将棋新人大会
将棋部／男子個人出場権獲得・女子個人出場権獲得
- 全国高等学校文芸コンクール
文芸部／散文部門応募（長野県推薦）
- 第44回全国高等学校総合文化祭（2020 こうち総文）
弦楽部／長野県高等学校選抜オーケストラとしてオンライン参加



部活動

多くの生徒が部活動と勉学を両立させながら
県大会・北信越大会・全国大会へと駒を進め活躍しています。



ソフトテニス部

運動部

野球／フェンシング／陸上／弓道／剣道／男子バレーボール
女子バレーボール／卓球／サッカー／ラグビー／バドミントン／男子バスケットボール
女子バスケットボール／男子テニス／女子テニス／
ソフトテニス／水泳

学芸部

囲碁／将棋／美術／文芸／写真／天文気象／軽音楽／演劇／英語
生物／化学／物理／吹奏楽／合唱／弦楽／書道／家庭科／ダンス／漫画研究



吹奏楽部



●在校生からの伊那北高校の紹介



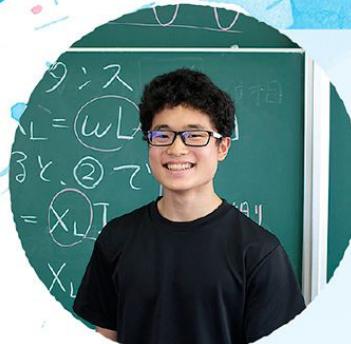
春日 碧依 (宮田中学校出身)

私は、「総合的な探究の時間」を通じて上伊那地区の高校再編計画について考えています。1年次は、グループの友人とともに再編計画の認知度、必要性、理想の高校の姿などについてアンケートをはじめとした調査を行いました。2年次は、さらに範囲を広げたアンケートや全国の再編事例などをもとに「高校生の目線」で考えた具体的な新校に対する提案や、高校生に再編事業について関心を持ってもらえるような活動をしたいと思っています。自分の興味を持ったことについて自由に考え、行動できるこの機会を大切に、有意義な活動をしたいです。

佐野 天咲 (春富中学校出身)

私は1年次の「総合的な探究の時間」に「外国人の方も暮らしやすい街づくり」をテーマに課題研究をしました。私は国際交流と教育に興味があり、伊那市にある「日本語教室 さくら組」でお話を伺わせていただきました。

2年次は、教育、特にキャリア教育をテーマに研究を進めたいと考えています。昨年度の様に、学校外でも活動を広げ、自分自身も楽しめて多くの人の為になる研究にしたいです。「総合的な探究の時間」は、自分の思考力だけでなく、計画力や実行力を培うのに最適です。また、課題研究の一番の魅力は、その活動の幅が無限大であることだと思います。



飯島 快周 (春富中学校出身)

私達理数科は、二酸化炭素検知器を用いた実験、寒天培地による細菌の実験、実用的な暗号の仕組みを学び課題を解く、などの活動を1年次の「課題研究」で行いました。細菌の実験で私達の班は、マスクのどの部分に細菌が多く付着するのかというテーマで実験を行いました。うまく出来ない部分もありましたが、問い合わせの設定、実験方法など、たくさんの学びがありました。

2年次では、数学、物理、化学、生物、地学の分野に分かれて、1年間かけて1つのテーマで研究をします。班員と話し合い、これまでより詳細な計画や仮説などを立てています。自分の興味のある分野の研究が出来るので、とても楽しいです。

● Q & A

Q1_学校生活を送る上で、普通科・理数科による違いはありますか？

A 授業科目(教育課程)以外の違いはありません。日課(授業時間など)は同じで、クラブや生徒会、クラスマッチや研修旅行などの行事も、学科の区別なく、一体となって行われています

Q2_入学後、転科はできますか？

A 覆修する授業科目(教育課程)の違いにより転科はできませんので、十分考えて志願してください。

Q3_土曜日に学校として工夫していることはありますか？

A 本校は午前3時間の土曜日授業を年7回実施しています。また、「クロスベンチャーアカデミー」という組織があり、講演会、模擬試験の実施、自習室の開放、希望者に対する補習授業の実施など、生徒の学力向上のための手立てを講じています。

Q4_55分授業だと聞きましたが？

A 本校では、55分授業(6時限日課)を実施しています。また、1年間を前期と後期に分け、2期制としています。各教科でより質の高い充実した授業を目指しています。



進路を協力に
サポート



●学力こそ伊那北の底力

豊富な講演会や体験活動を通じて、生徒の大学進学等の進路実現を強力にサポートする指導体制と進路実績は高く評価されています。1日の日課は6時限(1コマ55分授業×6時限)となっており、新学習指導要領や大学入学共通テストに対応できるよう授業内容も研究・工夫されています。充実した補習や模試、自学自習の道場となる自習室、土曜日を活用する「クロスベンチャーアカデミー」など生徒自らが「気づき、考え、行動する」場面を設け、生きる力を高める指導を行なっています。また、医学部医学科を目指す生徒向けに、講演会や面接対策の機会を地域と連携しながら設定しています。本校卒業生が、司法、中央・地方の行政、自然科学や人文科学等の各学問研究、諸産業界、医療・福祉や教育・文化等の様々な分野の一線で活躍しています。

1年次

「基本的な学習習慣の確立」が学校生活すべてのベースになります。授業を軸にして、「総合的な探究の時間」や「教育実習生と語る会」、夏休み前に参加する「夢ナビライブ」、大学のオープンキャンパス等、志望職種、大学・学部・学科について学び、文理選択を行うための機会が設定されています。

2年次

1年次に引き続き、志望職種、大学・学部・学科の研究を行い、大学のオープンキャンパスへと積極的に参加し、志望校・学部・学科を決め、入試に必要な科目を調べ、3年次の科目選択を行います。志望理由書の書き方や、志望校の入試制度を学び、冬の模試では仮想出願を行います。

3年次

2年次に決めた志望校の合格に向け、授業や補習、個別指導が行われます。進路分室には、赤本や、青本が充実しており、各大学の過去問対策を行える環境が整っています。夏休み明けには、「卒業生と語る会」で、先輩方の勉強法や、在学する大学の魅力等を聞き、受験へのモチベーションが高められます。



大学見学



夢ナビライブ参加



大学教授による模擬講義



クロスベンチャーアカデミー講演会

※令和2年度、3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できなかった行事があります。

●過去3年間の本校卒業生の主な合格大学と人数

● 東京大学	2人	● 上越教育大学	7人	● 早稲田大学	12人
● 京都大学	3人	● 富山大学	10人	● 慶應義塾大学	4人
● 東京工業大学	1人	● 金沢大学	11人	● 上智大学	4人
● 北海道大学	5人	● 福井大学	5人	● 東京理科大学	9人
● 東北大学	1人	● 山梨大学	13人	● 明治大学	23人
● 名古屋大学	15人	● 岐阜大学	3人	● 青山学院大学	8人
● 大阪大学	2人	● 静岡大学	16人	● 立教大学	11人
● 信州大学	81人	● 名古屋工業大学	4人	● 中央大学	27人
● 茨城大学	6人	● 広島大学	1人	● 法政大学	33人
● 筑波大学	7人	● 長野県看護大学	16人	● 学習院大学	3人
● 群馬大学	7人	● 長野県立大学	13人	● 国際基督教大学	2人
● 埼玉大学	11人	● 國際教養大学	1人	● 関西学院大学	5人
● 千葉大学	4人	● 高崎経済大学	10人	● 関西大学	11人
● お茶の水女子大学	1人	● 東京都立大学	12人	● 同志社大学	13人
● 東京学芸大学	9人	● 都留文化大学	8人	● 立命館大学	37人
● 横浜国立大学	5人	● 名古屋市立大学	4人	● 自治医科大学	3人
● 新潟大学	14人	● 大阪府立大学	1人		

●国公立大学
合格者延べ数 **434人**

●国公立大学医学部医学科
合格者延べ数 **7人**

●私立大学
合格者延べ数 **1,163人**

ペンは剣より強し
The pen is mightier than the sword.

本校の伝統～勉学に打ち込み未来を拓く～

本校は大正9年（1920年）、旧制伊那中学校として開校されて以来、地域の人々の育成を目指すとともに、校歌の一節にもあるように「高きを求め」て勉学に打ち込むことを大切にしてきました。

学園のある高台は、薰ヶ丘と呼ばれています。

校章の由来



開校後まもなく校章の制定が検討され、その図案化の過程で当初は「ペンと剣」とをあしらう文武両道を象徴しようという意見もありました。しかし、その後論議が重ねられた末、二つのペンを交差させ「ペンは剣より強し」（The pen is mightier than the sword.）という理想を表す現在の校章に定められたといわれています。



2022 CAMPUS GUIDE
長野県伊那北高等学校

〒396-8558 長野県伊那市山寺2165

TEL.0265-72-2221(代表) FAX.0265-76-8969

伊那北高校

